

別紙

送配電等業務指針第33条第1項第2号ア、イの要件適否の状況に係る詳細について(2018年12月末現在)

ア. 地域間連系線の利用実績

空容量/運用容量が5%以下の時間数比率

連系線	2018/1~2018/12		判定
	順方向	逆方向	
北海道本州間連系設備	3%	87%	○
東北東京間連系線	2%	0%	
東京中部間連系設備	10%	54%	○
中部関西間連系線	2%	0%	
北陸関西間連系線	0%	0%	
関西中国間連系線	0%	0%	
中国四国間連系線	1%	0%	
中国九州間連系線	0%	39%	○
中部北陸間連系設備	2%	0%	※
関西四国間連系設備	0%	1%	※
中部北陸間連系設備 北陸関西間連系線迂回	4%	0%	
関西四国間連系設備 中国四国間連系線迂回	0%	0%	

判定 ○ :運用容量に対する空容量が5%以下の時間数比率が、過去1年間で20%以上となった場合
※他の連系線への迂回が可能である潮流については、他の連系線に迂回したものとして取り扱い総合的に判断する

イ. 市場取引状況

市場分断処理の時間数比率(2018/1~2018/12)

連系線	北海道本州間連系線		東北東京間連系線		東京中部間連系線		中部関西間連系線		北陸関西間連系線		関西中国間連系線	
	順	逆	順	逆	順	逆	順	逆	順	逆	順	逆
分断比率	1.6%	84.3%	1.3%	0.0%	9.7%	56.7%	1.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
判定		○				○						

連系線	中国四国間連系線		中国九州間連系線		中部北陸間連系線		関西四国間連系線	
	順	逆	順	逆	順	逆	順	逆
分断比率	0.0%	0.0%	0.0%	29.9%	1.1%	0.1%	0.0%	0.0%
判定				○				

判定 ○ :過去1年間に市場分断処理を行った商品の数が、過去1年間の総商品数の20%以上